

地区名称の由来…子や孫が帰ってきたいくなる活気のあるまちづくりを進めることから名づけられました。リーサムの「リ」は英語で戻る・帰るという意味の「リターン」を、「サム」は小路北町(S)・打上新町(U)・明和(M)の頭文字を指します。

### まちづくり協議会役員会を開催しました

#### 平成 26 年度第 7 回役員会 3 月 3 日(火)

2 月 24 日(火)に開催した、ふるさとリーサム地区まちづくり協議会総会での質問・意見について、改善点や今後の取り組みなどを話し合いました。また、総会にて承認された平成 27 年度の活動計画の内容について、確認を行いました。



※総会の内容は、第 11 号(平成 27 年 4 月 15 日発行)を参照してください。

#### 平成 27 年度第 1 回役員会 4 月 7 日(火)

まちづくりだより第 11 号の掲載内容や、第 1 回検討部会の開催について確認しました。また、寝屋川市営住宅再編整備 第 1 期建替事業の計画概要について、PFI 事業者の前田組から説明がありました。枚方土木事務所から、都市計画道路梅ヶ丘高柳線の工事の進捗状況や文化財調査の説明を受けました。

#### 平成 27 年度第 2 回役員会 6 月 2 日(火)

地籍調査の今後のスケジュール、7 月 28 日(火)に開催する小路北町ブロックの地籍調査説明会の内容について市から説明を受けました。また、地籍調査推進委員の選任を行いました。併せて、第 1 回検討部会の報告や地籍調査説明会後に意見交換会を開催することについて確認しました。

また、寝屋川市営住宅再編整備 第 1 期建替事業の進捗状況の報告がありました。

#### ■地籍調査の今後のスケジュール(予定)■

小路北町ブロック		明和南ブロック		明和北ブロック	
説明会	7 月 28 日	閲覧 (誤り等申出)	平成 27 年 8 月頃	登記申請	平成 27 年 8 月頃
現地調査 (立会い)	平成 27 年 11 月頃	登記申請	平成 28 年 3 月頃	—	—

#### ■地籍調査推進委員(敬称略)■

木邨 忠保	木邨 博視	北井 勇
西本 一秀	北田 信也	樋口 清

## まちづくり協議会検討部会を開催しました

4月から地元を主体としたまちなか再生エリアのまちづくりの具体的な検討を行って  
いくための検討部会を設置しました。今後、部会活動について、定期的に報告させていた  
だきます。

### 平成27年度第1回検討部会 4月7日（火）

第1回は、前回のまち歩きから時間が経過し  
ていることから、再度、まちなか再生エリアの  
まち歩きを行い、空き地、空き家の再確認や現  
状の問題点などの確認を行い、各々の部会員が  
課題等の抽出を行いました。

主な意見としては、

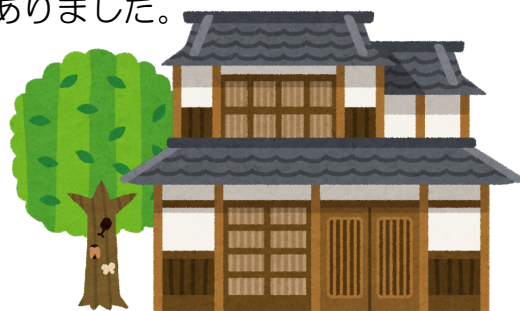
- 空き家が思っていた以上に多く、空き地、空き  
家対策をどのようにするのか。
- どの道路から着手するのか。優先順位をどうするのか。
- 現況から見て6mでは無理がある箇所があり、道路幅員の再検討が必要ではないか。
- 空き地・空き家側に道路線形を変更するなど、再検討が必要ではないか。
- 地主、借地人、借家人の意見を聞く必要があるが、具体的にどのようにするのか。
- 墓地へのアクセス道路は高低差があるので実現は難しいのではないか。
- 現況の幅員が広いところは、現道の再整備でいいのではないか。

これらの意見より、以前よりも空き地、空き家ともに増えており、道路が狭いことか  
ら建替えが進まず、まちから人が少なくなっていることが大きな問題であることを改め  
て認識しました。

### 平成27年度第2回検討部会 6月2日（火）

第2回は、第1回のまち歩きによる課題の再確認を行い、道路線形の見直しの方向性  
について話し合いを行いました。また、市から現在検討されている道路及び公園整備、空  
き家住宅の除却や建物の修景整備の補助など、まちの活性化とともに住環境の改善を目的  
とした補助事業「街なみ環境整備事業」の概要説明がありました。

今後は、空き地、空き家、土地の高低差の関係から  
具体的な道路線形や道路幅員の見直しの検討を  
進めていきます。



## ふるさとリーサム地区意見交換会について

7月28日(火)に、市による地籍調査の説明会(下記参照)終了後、**20時頃から同会場にて、まちなか再生エリアのまちづくりに関する意見交換会**を行います。4月から取り組んでいる検討部会での検討経過についても報告させていただきます。

土地をお持ちの方だけでなく、借地、借家の方など**まちなか再生エリアにお住まいの方**も、ぜひご参加下さいますようお願いいたします。

## まちなか再生エリア内にて地籍調査を行います(市からのお知らせ)

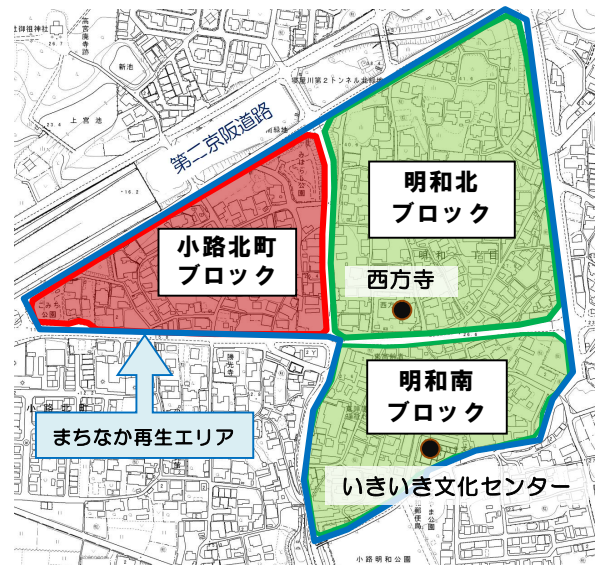
明和北・南ブロックに引き続き、**小路北町ブロック**において地籍調査を行います。

つきましては、小路北町ブロックの地籍調査の説明会を下記のとおり行いますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

**日時：7月28日(火) 19時から**

**場所：いきいき文化センター3階集会室**

**対象：小路北町ブロックの土地所有者**



### 地籍調査とは？

地籍調査は、土地に関する基礎的な調査であり、土地の実態を正確に把握するため、それぞれの土地について、所有者・地番・地目の調査や土地の境界の確認、面積の測量を行い、その結果に基づいて正確な地図を作成します。これらの内容は、登記所(法務局)に送られ、登記簿に記載されている情報を正確なものに更新することができます。

### なぜ地籍調査を行うの？

境界を確認することで個人の土地(財産)を明確にするのはもちろんですが、道路整備などの工事を行う際には、土地の場所や、所有者が誰であるのかなどを把握できなければ、スムーズに工事を進めることができません。このように、よりよいまちづくりを行うためにも地籍調査を行う必要があります。

### 地籍調査の効果

万が一、地震や水害などの災害が起きた場合でも、正確に境界の位置を復元することができるため、復旧活動にすばやく対応することが可能となります。

### 地籍調査のための費用について

この調査は市が実施するため、住民の方々には費用負担はありません。ただし、境界の立会い等にかかる交通費などの費用は個人負担となります。

### 地籍調査推進委員とは？

地籍調査の目的や必要性などの啓発、境界の確定について第三者的立場から助言をするなど、地籍調査を円滑に進めるために協力する者を言います。

## 小路北町ブロックの地籍調査のスケジュール（市からのお知らせ）

### 平成27年度

#### 細部図根・復元測量

測量に必要な基準点を設置し、登記所備え付けの地積測量図等に基づき、境界点を復元します。

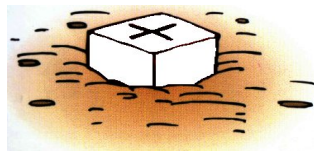
※細部図根・復元測量の際には私有地に立ち入る場合があります。



平成27年7月～10月

#### 所有者による境界確認

境界に関する資料や境界杭等があるか、どこが境界になるか等を事前に調べておくと一筆地調査（現地調査）が進めやすくなります。



平成27年8月～10月

#### 一筆地調査（現地調査）

一筆ごとに所有者の立会いのもと、所有者、地番、地目、境界等を確認します。



平成27年11月

### 平成27年度

#### 地籍測量

一筆ごとに正確な測量を行います。その結果を基に正確な地図（地籍図）を作るとともに、各筆の面積を出します。



平成27年11月～平成28年2月

### 平成28年度（以降）

#### 成果の閲覧・確認

地籍簿と地籍図の案を市役所で閲覧にかけ、誤りなどがあれば訂正する機会を設けます。



#### 登記所への送付

登記所では、土地登記簿が正確なものに書き改められ、地籍図が備え付けられます。



## 明和北・南ブロックの地籍調査の進捗状況について（市からのお知らせ）

明和北ブロックの地籍調査は、今年8月に登記申請を行うべく関係機関との協議を行っています。登記が完了しましたら、土地所有者の方々に文書で通知します。

明和南ブロックの地籍調査は、全ての立会いが終了しました。現在は、一筆ごとの土地の測量まで終了しています。今後は、調査の成果を閲覧・確認していただきます。閲覧の日程や場所については、土地所有者の方々に文書で通知します。

境界立会い  
（終了）

一筆測量  
（終了）

閲覧（誤り等申出）  
（8月予定）

登記  
（平成28年3月予定）

## 寝屋川市営住宅再編整備 第1期建替事業（市よりお知らせ）

### いきいき文化センター旧館（東部自治会館）の取り壊し

いきいき文化センター旧館（東部自治会館）の取り壊し（除却）工事を行っており、付近の皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、ご協力のほど、よろしくお願い致します。工事の完了は9月末を予定しています。



### 宮池跡の防災機能を有する公園・ワークショップ

宮池跡の公園整備について、設計段階で様々な意見を取り入れた防災機能を有する公園整備に向けて、6月17日（水）に第1回目のワークショップを開催しました。

また、7月1日（水）に茨木市の岩倉公園、箕面市の箕面森町ピースガーデンの事例視察を行いました。



### 借上住宅へ移転された方々からのメッセージ

明和住宅から借上住宅へ移転された方々からのメッセージが届きましたので掲載させていただきます。

#### ◆打上団地へ移転された方（大阪府住宅供給公社）◆

引越し後、3か月余りが過ぎ、少しずつ落ち着き始めたところです。

周りの住民の方の顔と名前が一致するまでは時間がかかりますが、静かで住み良い住宅だと思っています。

#### ◆寝屋川団地へ移転された方（UR都市機構）◆

寝屋川団地に引越して、デメリットもありますが、トータルするとメリットの方が大きいので、清々しい気持ちで生活できています。

近所の人達も笑顔で挨拶してくださるし、住み心地は悪くないと感じております。



## 明和地区のだんじり大修理

明和地区のだんじり祭りは、毎年10月に行われており、大小2基のだんじりが地区内を巡行し、地区の氏神である国守神社に奉納されます。

大きなだんじりは、江戸時代に遡る古いものと伝えられていますが、長年の使用のため傷みが激しく、近年は曳行が困難な状態でした。このため、昨年度（平成26年）に国（文化庁）の補助金（「文化遺産を活かした地域活性化事業」）を受けて、大修理を行いました。

だんじりは貴重な彫刻の部分を残しながら、クリーニング、屋根の張り替え、足回りの補強などを行い、新調されたような立派な姿になりました。

今年の秋祭りには、往時のように巡行する立派なだんじりの姿をお見せすることができますでしょう。



修理前のだんじり



修理後のだんじり

### おしら

ふれあい盆踊り大会中止のお知らせ

今年のふれあい盆踊り大会は、東部自治会館（明和温泉の北側）の解体作業等が行われているため、中止いたします。

よろしくお願ひします。



## 上垣内（かみがいと）遺跡発掘調査の現地説明会が開催されました！

7月4日（土）に、明和2丁目（道路予定地）において大阪府教育委員会主催で文化財発掘調査の現地説明会が開催されました。この発掘調査は、都市計画道路梅が丘高柳線の道路築造事業内で上垣内（かみがいと）遺跡であることが分かり、古墳時代の竪穴住居跡や土器など様々な時代の遺跡が発見されました。

当日は小雨の降る天候にもかかわらず、多数の方が参加し、古代の生活文化を感じさせるひと時となりました。

### 【説明会場所】



約150名の参加者が調査員の説明を熱心に聞き、様々な質問をされていました。

古墳時代（今から約1500年前）の竪穴住居跡（3棟）や土器、奈良時代（今から約1300年前）の掘立柱（ほったてばしら）建物跡（1棟）などが発見されました。



住居跡はとても残りがよく、カマドも確認されました。



出土品の中には、旧石器時代（約1.5万年前）のナイフ形石器や縄文時代の打製石鏃（石の矢じり）、戦時中（昭和15～20年）の食器（統制陶磁）などもありました。



※統制陶磁：戦時中に施行された国家総動員法に基づき、国の統制下で生産量・価格・大きさなどを統制された陶器。

「ローマは一日して成らず」と言われるように、地域づくりやまちづくりには多くの時間とたゆまぬ努力が必要であると感じる日となりました！

# 編集後記

先日、宮池跡の公園整備のワークショップの一環として防災機能を有する公園として茨木市の岩倉公園の見学に行ってきました。（P.5を参照）

この公園は、防災公園としての機能を担っており、かまどベンチや非常用トイレなどが設置され、災害時には一時避難場所になるとのことです。

まちなか再生エリアのまちづくりにおいて、防災軸の道路整備のほか、空き地・空き家などの土地を活用した防災小広場等の整備を検討しており、たいへん参考になりました。

現在、検討部会を設置し、まちなか再生エリア内のまちづくりについて具体的な検討を進めております。今後とも、まちづくりにご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。



## 【まちづくりだよりの問い合わせ先について】

寝屋川市まち政策部まちづくり事業推進室

- ・電話：072-824-1181（代表）
- ・FAX：072-825-2618
- ・Email：machi-sui@city.neyagawa.osaka.jp

寝屋川市のホームページにもまちづくりだよりを掲載しています。

